

(参考様式6)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）  
事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	薬師寺・柴地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
栃木県 下野市	(栃木県) 90000 (下野市) 92169	1	平成 26 年度～ 平成 29 年度	平成 26 年度～ 平成 28 年度
活性化計画の区域				
栃木県下野市 薬師寺・柴地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	1 年	2 年	未達成	

(コメント)

基盤整備の円滑化において、本事業終了後の 1 年後の平成 29 年度から基盤整備事業に着手する予定であったが、未同意者交渉に時間を要したため、2 年後の平成 30 年度に事業着手した。

当地区の定住人口については、平成 20 年度 3,497 人～平成 24 年度 3,483 人と 5 年間で人口減少率 0.4%となっていて、この人口減少率を計画期間において上回らないことを目標としていたが、計画期間最終年の平成 29 年度には 3,565 人と定住人口が増加し目標を達成することができた。

なお、平成 28 年度は農業競争力強化農地整備事業を活用し経営体育成促進換地等調整を実施した。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量	事業実施主体	
地形図作成	地形図作成 110 ha	下野市	
農用地等集団化	経営体育成促進換地等調整 93.8ha	下野市	
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日

	平成 26 年度	平成 27 年度 (平成 28 年度は農業 競争力強化農地整 備事業)	
事業の効果			
<p>地形図作成及び経営体育成促進換地等調整事業を実施したことにより、現場及び関係者の意向等が把握できたことで地元の合意形成が進んだ。平成 30 年度から区画整理事業に着手することにより農業の生産性向上、地域営農の発展が期待される。</p>			

### 3 総合評価

(コメント)

〔栃木県〕

本事業により農地の集団化が円滑に進み、基盤整備事業が着手されたことで、農作業の効率化・省力化が図られ農業経営の向上が期待される。

〔下野市〕

地形図作成及び経営体育成促進換地等調整事業は、農業基盤整備事業に必要な事業であり、本事業の実施が農業基盤整備の円滑な実施につながった。今後、農業基盤整備事業が確実に実施されることで、葉師寺・柴地区の活性化及び定住の促進が期待される。

### 4 第三者の意見

(コメント)

本事業の実施により作業効率の向上、用水の安定供給や農地の集積などが見込まれ、農地の有効利用が図られると考える。今後の当地区の地域営農の発展及び定住化の促進に期待したい。